

神戸の海は宝箱

～大阪湾に暮らす生き物たち～

宮道 成彦・写真/文

20年3月下旬発売



「天然の魚介うごめく大阪湾。身近な海を見直すことの大切さを、宮道さんは教えてくれた。」

水中写真家 中村征夫(本書・帯の言葉より)

目の前にある神戸の海の中には、どんな生き物が暮らしているのだろうそんな素朴な疑問から神戸の海に潜り始めた宮道さんの海中写真には、驚くような世界が広がっていました。

時にはたくましく、時にはユーモラスに暮らす魚たち、
優美な軟体動物、海中を照らすサンゴの仲間……
さあ、身近な大阪湾の中をのぞいてみましょう。

コウイカの赤ちゃん



【目次より】

- I 海の中の春夏秋冬
- II KOBE海中コレクション
- III 神戸空港周辺の海
- IV 海、これから～宝箱を守ろう～
- V いのちの海
～くり返される命の育み～



クラカケトラギス

約130種類の生き物が
約180点の写真で登場し
ます

A5判・136ページ 定価 1,680円(税込)

当時最西端とされたムツサンゴ



ジャンメガザミ



ムラサキハナギンチャク



空き缶から顔を出すアカオビシマハゼ



(出版元・お問い合わせ)

神戸新聞総合出版センター

神戸市中央区東川崎町1丁目5-7神戸情報文化ビル9F

TEL078-362-7138 FAX078-361-7552